

いんさい

No.194

2020. 11. 15

議会だより



じょうずに書けたワン!

(市内お習字教室)



いんざい君 © 2011 Inzai City

- P 2 第2回臨時会
- P 3 第3回定例会予算の審査
予算審査常任委員会
- P 4～ 元年度決算目玉事業・
決算の審査
決算審査特別委員会
- P 6 9月定例会
質問者一覧表
- P 7～ 一般質問
会派代表質問6人
個人質問11人
- P 18 議会タブレット端末
操作を体験
- P 19～ 各常任委員会の審査
総務企画常任委員会
文教福祉常任委員会
建設経済常任委員会
- P 22 陳情・発議案
議案と審議結果一覧
- P 23 新人議員コーナー
- P 24 市民の声
次回定例会のお知らせ
編集後記

令和2年第2回臨時会を 8月7日に開催

8月7日、令和2年第2回臨時会が開催されました。
市長提出議案は議案2件、報告2件、それぞれ慎重な審議を行いました。結果は下記のとおりです。

令和2年第2回臨時会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥(地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。)、—=その他
※議長(板橋 睦)は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	柿原健一	梶原友雄	藤江研一	松本有利	伊藤真一	稲葉利彦	小川重行	玉木実	櫻井正夫	浅沼美弥子	岩崎成子	海老原俊一	中澤武雄	藤代俊子	増田榮子	松尾和史	金丸俊紀	山田喜代子	近藤瑞枝	板橋睦	
《議案》(市長提出議案)																							
議案第1号	印西市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	財産の取得	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—

議案第1号 新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費 25事業2億6,167万8千円

問 中小企業等緊急支援事業7,487万5千円の内容は。
答 中小企業等緊急支援給付金として、1億1,650万円を増額し、中小企業雇用調整助成金は国が全額支給することから、4,162万5千円を減額したものである。

問 学童クラブに要する経費5,269万3千円の内訳は。
答 コロナ対策経費として公立学童クラブに650万円、指定管理者への委託料2,306万8千円、民間学童クラブへの補助金2,312万5千円の増額である。

議案第2号 小中学校教育用パソコンの取得4億8,525万7千円

問 児童・生徒用および教職員用パソコン3,421台のうち、500台が先行納品される理由は何か。
答 令和2年度中に休校となった場合に貸し出すためである。

臨時会での討論(要約)

議案第2号
教師の負担増大のおそれ
 コロナ対策に追われる教師の負担軽減のためのGIGAスクールサポーターも未申請である。教師の増員や少人数学級の実現、子どもの貧困対策などを最優先すべきである。

教育用パソコンは必要
 今後の小中学校臨時休業の際の学習保障や教職員の在宅勤務に備え、国のGIGAスクール構想に基づく1人1台の端末や高速ネットワーク整備は急務であり、教育用パソコンを財産取得する本件に賛成。

討 論
賛成
 修する経費である。また、利用時間が増えている養育支援訪問の経費も増額した。

第3回定例会 予算の審査

予算審査常任委員会

予算審査常任委員会には、一般会計及び国民健康保険、介護保険の2特別会計の補正予算3議案が付託され、9月23日に審査を実施し、すべて原案通り可決しました。

■一般会計補正予算

市民の足を支援

問 路線バス運行対策として1356万円を増額しているが、どのような内容か。
答 路線バスの運賃収入の減収を支援する。今後の新型コロナウイルスの感染拡大の影響も考慮し、7月以降の運賃収入を前年比50%で積算した。また、感染防止対策として、緊急事態宣言後も市民の足の確保のため運行を継続したバス、タクシー事業者へ感染症対策の消耗品分の経費を支援する。

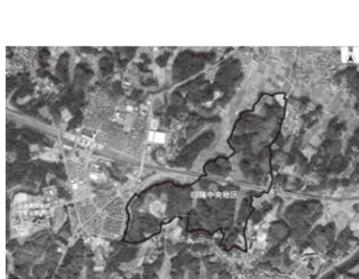


市役所窓口のサービス向上

市役所窓口をスピードアップ
問 市民課窓口と国保年金課窓口の業務委託はどのような内容か。
答 各証明書の交付請求の業務、住民異動に関する業務、印鑑登録に関する業務、転入転出などに伴う国民健康保険の業務の一部を民間に委託する。窓口担当と事務処理担当を分け、それぞれが業務に専念することで処理スピードの向上が図れる。

生物多様性保全に向けて

問 印旛中央地区土地画整理事業の環境影響評価業務委託の内容は。



区画整理事業が計画されている印旛中央地区

問 平成9年の都市計画決定時に行われた調査で確認された動物等の現在の状況を把握するとともに、20年以上経過し、レッドデータブックの追加もされていることから、前回の調査で確認された動物に限らず、もう一度全体的な把握をするために調査を行う。

児童虐待にいち早く対応

問 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業とは何をするのか。
答 令和3年度から、児童相談所と日常的に情報共有を行い、要保護児童等が転居した場合などにも県を通して自治体間の情報共有を迅速に行えるよう、現行のシステムを改

■国民健康保険特別会計補正予算

コロナ減収で減免を申請
問 保険税が減収見込みとなっているが、新型コロナウイルス感染症関連の減免の申請によるものか。
答 令和2年8月末現在で減免の申請が113件あり、うち却下となったものが10件である。今後も申請があると思われる。150世帯と見込んでいた。減免の決定額は世帯で平均約20万円であった。

■介護保険特別会計補正予算

基金残高の評価はしたか
問 財政調整基金へ積立されているが、適正な基金残高について議論があったか。
答 基金の残高については、第8期計画の3年間で評価したい。

子育て優先のまちづくり

- 就園奨励事業.....約1億896万円
- 保育園運営に要する経費.....約34億9,194万円
公立保育園運営・民間保育園運営補助・保育園新設整備
- ひとり親家庭等の子どもの学習支援.....約526万円
- 学童クラブ施設整備及び運営の経費.....約3億2,805万円
- 子ども医療費助成事業.....約4億8,288万円



良好な道路インフラの整備と維持・補修

- 市道00-026号線・市道00-009号線整備.....約1億4,483万円
- 市道00-010号線・市道105号線他舗装修繕.....約5億8,186万円
- 松崎・吉田線整備.....約1億2,161万円
- 山田・平賀線改良.....約9,990万円
- 竜腹寺線整備.....約35万円



健康で元気に暮らす

- 乳幼児健診・出産育児支援等.....約9,073万円
- がん検診事業.....約1億433万円



令和元年度 決算 目玉事業

こんな事業を実施しました。

寄り添う福祉事業

- 障がい者の自立を支援.....約17億8,151万円
- 高齢者の自宅での自立支援.....約1,251万円
- 介護予防・日常生活支援.....約1億3,218万円



コミュニティを守る

- コミュニティバス運行事業.....約1億2,834万円
利用者数 ふれあいバス 245,944人 / スワン号 293人
- 町内会・自治会等の活動推進事業.....約3,072万円
令和元年度末団体数186団体(うち新規6団体)

より良い学びの環境へ

- 小学校の学習机・椅子の計画的更新.....約1億6,164万円
- 中学校の増築工事と増築・改修工事設計 約4億5,094万円



決算の審査 決算審査特別委員会

令和元年度一般会計・特別会計・水道事業会計合わせて6会計について、決算審査特別委員会を設置し、9月14日から18日までの5日間で審査を行いました。

審査の結果、6会計すべての決算を認定すべきものと決定しました。

災害用の備品購入進む

問 災害用備蓄食料及び非常用備品購入の実績は。

答 非常用備品は、ベンリー袋、ガソリン缶詰、キョボックス等で、災害用備蓄食料は、アルファ化米、災害用備蓄保存パン、保存用ラーメン、保存水、粉ミルク、液体ミルクを購入している。

防犯灯LED化率96%

問 防犯灯をLED化する、もしくは、新規の設置を進める事業において、当初の予定どおり終了したのか。

答 防犯灯のLED化率は96%と進捗状況は良好である。

データヘルス事業

問 未受診者の受診勧奨、異常値放置者受診勧奨、生活習慣病治療中断者受診勧奨、重複服薬患者の受診勧奨の成果は。

答 新たに生活習慣病治療中断者受診勧奨事業及び重複服薬患者受診勧奨事業を追加して、服薬の適正化を図っている。



成年後見制度の利用援助事業

問 成年後見制度利用援助事業と配食サービス事業の不用額の原因は。

答 後見人の報酬を援助する目的で、10件を予算計上したが申請は1件であった。配食サービスは、入札の結果1食あたりの

答 令和元年度は1097基、残りが約350基程度で、LED化率は96%となった。



低電力化のLED照明機器

順天堂大学でスポーツ教室

問 順天堂大学生涯学習公開講座業務委託の成果は。

答 小学生の親子を対象としたスポーツ教室を実施し、4回講座を実施した。

印旛中央地区土地区画整理事業の事業化に向けて

問 支援補助1256万円による進捗状況は。

答 土地区画整理組合の設立に必要な調査に要する経費と事務等に対し、補助金を交付するこ

マンホール蓋の更新工事の進捗状況は。

問 マンホール蓋の更新工事の進捗状況は。

答 マンホール蓋の耐用年数と傷み具合を考慮し、39カ所で交換工事を実施した。全体の進捗率は58%である。



更新が進むマンホール蓋

水道未普及地区解消に

問 水道普及率が70・42%で、平成30年度と比べて若干上がっているが、水道普及率100%まで進まない原因は。

答 工事が多額となり、莫大な赤字となる事も予測されることから、経営判断を慎重に進めながら未普及区域の解消に努めている。

我が市政を問う

9月定例会

9月定例会は、9月3日から10月6日までの34日間、開催されました。市長提出案件は議案16件、認定6件、報告2件、同意2件、諮問1件、議員提出議案1件、それぞれ慎重な審議が行われました。審議結果は、22ページに掲載しています。

問 成田線増便と北総線運賃是正は

答 JRと北総鉄道に要望していく

「響(ひびき)」 玉木 実 議員



北総ウォーク

と高運賃是正のためにどのような活動をしてきたのか。

市長 北総鉄道株主総会での発言など、あらゆる機会を捉えて要望してきた。

再質問 北総ウォークやZOOチャンネルなど、北総線沿線のイベントは成果が出ているが、北総線の利用客を増やすための新たな仕掛けは考えているか。

企画財政部長 北総

質問1 成田線の増便に向けてどのような活動をしてきたのか。

市長 JR東日本と国土交通省に要望書を提出している。各種イベントを通じて沿線地域の魅力を発信し、成田線利用者増加を図っている。

質問2 北総線の利便性向上

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- 1. 響(ひびき) (玉木 実) P7
- 2. 新政 (海老原 作一) P8
- 3. 公明党 (藤江 研一) P9
- 4. 日本共産党 (伊藤 真一) P10
- 5. 至誠 (藤代 武雄) P11
- 6. 創進 (松尾 榮子) P12

個人質問

- 1. 浅沼 美弥子 P13
- 2. 米井 重行 P13
- 3. 山田 喜代子 P14
- 4. 松本 有利子 P14
- 5. 増田 葉子 P15
- 6. 金丸 和史 P15
- 7. 小川 利彦 P16
- 8. 稲葉 健 P16
- 9. 軍司 俊紀 P17
- 10. 櫻井 正夫 P17
- 11. 柿原 健一 P18

再質問 北総鉄道の2019年度決算は、定期旅客が対前期比41万4千人増の2731万6千人となり、累積赤字も

解消のめどが立つようになったが、新型コロナウイルスの影響で減収減益が見込まれる中で、今後も北総鉄道に対して運賃値下げを求めていくのか。

答弁 引き続き強く運賃値下げを要望していく。

質問3 本年7月に市が購入した日本デキシーの跡地について、木下地区の賑わいの再生を促すためにどのような活用を考えているのか。

市長 当面の間は、イベントなどにより、市民が集まることのできる広場として活用したい。

再質問 公共施設の集約化という方針が変わったのか。

企画財政部長 一部を都市計画道路路として活用するほか、その他については、公共施設の集約化などを基本として、木下駅圏のにぎわい創出や利便性の向上につながる施設を整備する方向で検討していく。



問 ひとり親家庭へ市の支援を

答 今定例会の補正予算に計上した

「新政」海老原作一 議員

質問1 コロナ禍におけるひとり親家庭への生活支援は。

市長 国のひとり親世帯臨時特別給付金と同額を、児童扶養手当受給世帯に対して、令和2年12月と3年2月の2回に分けて支給する。

質問2 防災拠点の機能強化として松山下公園へのアクセス道路の整備をどう考えるか。

市長 松山下公園の防災機能強化や公園利用者の利便性向上および地元の道路環境の改善として、松山下公園へアクセスする道路を検討する。

質問3 小中学校に在学する

第3子から、給食費の負担をなくす考えはあるか。

教育長 市長公約の一つとして、子育て世代の経済的負担軽減を掲げている。第3子の対象範囲や軽減対象者の把握など先進自治体の状況を参考にして、実施に向け検討している。

質問4 高齢者の補聴器購入に対する一部助成をどう考えるか。

市長 対象者の範囲や限度額、医師の所見や助成までの手順等を検討する必要があり、さまざまな知見を集め、また、

先行している自治体の事例等を研究し、制度設計を進めていきたい。

質問5 地域文化・芸術の活動支援はどうか。

教育長 市民がさまざまな文化や芸術に触れることができ、環境づくりを推進している。事業では、芸術鑑賞事業や市民文化祭を開催しているが、令和2年度の市民文化祭は中止とし、オンライン市民文化祭として、芸術作品や文化活動をデジタル画像としたものを募集し、市ホームページで公開する。

質問6 木下南側のデキシー跡地活用としての施設整備に係る検討は、次期第1次基本計画期間内との理解でよいか。



企画財政部長 公共施設の集約化に係る内部検討や木下駅圏の賑わい創出に係る関係団体との意見交換を踏まえ、令和3年度から令和7年度までの次期第1次基本計画の期間内に土地全体の施設整備に係る方向性をまとめたい。

向けて最終調整を行っている。

再質問 災害対応へのローンの活用は。

答弁 市内業者と6月より協議を進めており、できる限り早期に協定を結びたい。

質問2 各種給付金等の支給状況を伺う。特別額給付金の支給状況は。

福祉部長 4万1422世帯に支給。給付率は99・7%。

再質問 生活保護世帯と外国人世帯の給付状況は。

答弁 生活保護世帯は100%に、外国人世帯は1148世帯中1115世帯に給付。

再質問 中小企業等緊急支援金の支給数は。

環境経済部長 1275件。
再質問 このうち支給要件緩和により支給できた数は。

答弁 45件である。

質問3 児童相談所誘致について提案していたが、現在の状況を伺う。

市長 印西市への設置の検討を要望したい。

質問4 子どもの学習支援の対応状況は。

健康子ども部長 9月より中央駅前地域交流館でも実施。

質問5 教育用パソコン（重さ1・5kg以下）について授業中や通学時に低学年児童の負担軽減の配慮ができないか。

教育長 重さは1・2kgにするよう配慮する。

質問6 修学旅行中止に伴い日帰り旅行を検討できないか。

答弁 代替旅行も考えられる。

再質問 キャンセル料は。

答弁 市で負担する方向で検討する。
質問7 シルバーパスの申請を出張所でも受け付けるなど改善できないか。

福祉部長 調整を図りたい。

問 小中学校体育館へのエアコンは

答 検討するよう関係課に指示した

「公明党」藤江 研一 議員



避難所になる小中学校体育館

質問1 防災・減災について伺う。公立小中学校体育館へのエアコン設置検討状況は。

市長 災害対応力の強化という観点から、体育館のエアコン設置について検討するよう関係課に指示した。

再質問 印西市と東電パワーグリッドとの個別協定締結は。

総務部長 相互協力の強化、情報共有等のため協定締結に



議会だよりを「マチイロ」で!



令和2年第4回定例会で予定されている一般質問は、11月20日(金)以降、ホームページに掲載します。

問 国保税滞納者へも限度額認定証を

答 事情に応じて判断する

「日本共産党」伊藤真一 議員

質問1 国保税の滞納があつても「限度額適用認定証」を交付すべきではないのか。

市長 特別の事情がある場合は、個別に対応していく。

再質問 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、資格証明書から短期保険証にすべきではないのか。

答弁 新型コロナウイルス感染症の発症の疑いがある場合、資格証明書の方（保険証がない人）を通常の被保険者証とみなして取り扱っていく。

質問2 GIGAスクール構想について、日本共産党は「G

IGAスクール構想」に全面的に賛成ではないが、コロナ禍での休校に備えオンライン授業に向けて、全家庭への通信費公費負担をどう考えるか。

教育長 現在のところ、全家庭への通信費を公費負担することは考えていない。

再質問 義務教育で必要となる通信環境を整えることから、全ての家庭の通信費相当分を公費負担するべきではないか。

答弁 国からは、「経済的にWiFiを用意できない児童生徒にモバイルWiFi

ルーターを貸与する」と示されている。通信費の公費負担については、準要保護家庭等、経済的に支援を必要とする家庭のみが対象となっており、全家庭への補助については考えていない。

再質問 子どもの教育環境を整えるために、親の食費を削って、ネット教育環境を整えている家庭もある。そのような現状から、ある程度の公費負担を検討するべきではないか。

答弁 その考えはない。



通常水位の利根川

再質問 風水害時の対策について、市役所内で共通している課題は何か。

総務部長 近年の災害の甚大化や複合化を踏まえ、早期に災害対応体制を構築し、個別対策マニュアルに基づき迅速に対応していくことが、より必要であると考えている。

質問2 危機管理対策の現状と課題は何か。

市長 自然災害、感染症等、所管部署が中心となり対応している。

近年では、危機の複雑、多様化とともに、市においても都市化の進展にともない、人的・物的交流が活発化するなかで、市民生活を脅かす危機が懸念されている状況と認識している。

再質問 危機管理対策の一元化についてはどう考えるか。

質問3 通常授業でパソコンによる授業をするかどうかは教員に委ね、ICTが苦手と感じている先生に無理やりパソコン使用させることは、百害あって一利なしであり強制してはいけないと考えるがいかがか。

教育長 ICTが苦手な教員については、さまざまな方法で支援していく。



支払いに悩む入院患者

答弁 さまざまな危機に的確かつ一元的に対応できる、全庁的な組織体制が求められていると認識している。

質問3 地域差のない均衡あるまちづくりについて、地域差の現状と課題は何か。

市長 地域や年代などによって、感じる地域差や求める行政サービスのニーズは異なると考えている。地域が抱えている課題へ対応するとともに、特性を活かしたまちづくりを進め、住みよさを実感できるまちづくりを進めていく。

再質問 地域が抱えている課題をどのように認識し、政策に取り入れていくのか。

企画財政部長 市民満足度・重要度調査の結果等をもとに、各地域における課題などの把握に努めている。各地域において顕在化している課題等については、内容に応じて実施計画等に位置づけ対応していく。

問 大規模災害時の新たな対策は

答 県・企業と災害協定の締結を行う

「至誠」藤代 武雄 議員

質問1 令和元年に発生した大型台風及び豪雨災害における課題は何か。

市長 長時間の停電に対する対策、気象状況の変化に応じた迅速な避難所体制等の課題が明らかになった。

そのため、新たに県や企業との協力連携体制や災害協定等を通じて、今後の防災、減災に努めていく。

問 市の現状と全体像捉え基本計画を

答 市の将来をイメージし計画を策定

「創進」松尾榮子議員

質問1 次期総合計画では、急激に発展してきた市の現状と全体像を的確に捉え地区割り、ネットワークをしっかりと考えていくべきではないか。

市長 新しい印西市の将来をイメージし、市の全体像をしっかりと捉え、総合計画を策定していきたい。

再質問 ふれあいバスでも、各駅圏等からのベクトルと二一ズの高さをふまえた発着拠点を検討することで市内各地区を効果的に短時間で結べる。そうした検討を行い次期計画に位置付ける考えはないか。

記載予定はないが、個別計画の印西市地域公共交通網形成計画の策定にあたっては、土地利用基本構想や市民アンケートの結果を踏まえ、発着拠点などについて検討したいと考えている。

質問2 印西市公共施設適正配置アクションプランにおける歴史資料の保管活用では、印旛歴史民俗資料館、大森歴史資料保管庫を、木下交流の杜歴史資料センターに統合の方針か。

教育長 施設の老朽化等もあり、アクションプランに基づき、市内に分散している歴史資料を集約化し、効率的な保管

存・活用を検討していきたい。

再質問 利根川の舟運や木下



印旛歴史民俗資料館の農・民具資料

河岸、木下貝層等に関する資料は、利根川を見渡す木下交流の杜にあつてこそ、地域の暮らしや歴史が生き生きと伝わる。同様に農業に関する農具・民具等の資料は、農業を基幹産業としてきた地域にあつてこそ、現代の市民にも豊かな農の暮らしの歴史が伝わるのではないかと。現在、吉田地区の次期中間処理施設整備事業予定地周辺に地域振興策の検討が進められ、道路整備も進められているが、このエリアに印旛歴史民俗資料館等にある農業系の資料を展示し広く市民や子どもたちに見てもらえるよう検討していくべきではないか。

教育部長 歴史資料の集約化については、さまざまな意見も聞きながら、印西市公共施設適正配置アクションプランに基づいて検討していきたい。

問「オープンラボ」への参加は

答 利用申し込みの方向で検討中

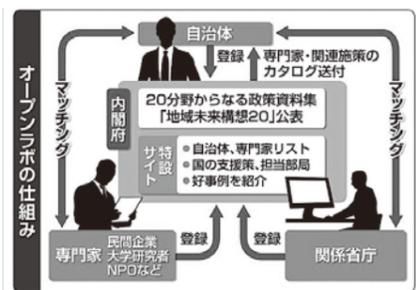
浅沼美弥子議員

個人質問

質問1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下「交付金」）の当市における第二次交付限度額4億5900万円が示された。事業計画策定状況は。

市長 すでに議決されている令和2年度補正予算の事業で、交付金の制度要綱に合致する事業を実施計画事業として提出する予定だ。

再質問 交付金を担当する内閣府は、将来を見据え、地域の社会構造そのものを感染リ



オープンラボのしくみ

スクに対して強靱なものへと改革することを推進する観点から、重点政策として20分野を「地域未来構想20」として発表。さらに、自治体と各分野の専門家、関係省庁をマッチングして事業の実施を加速させるための「地域未来構想20オープンラボ」を設置し、かつてない取り組みを進めている。登録した専門家や企業は713。コロナ禍だからこそできるまちづくりの大きな変革のチャンス到来だ。「オープンラボ」への今後の対応は。

企画財政部長 「地域未来構想20オープンラボ」については、新型コロナウイルス禍における新しい生活様式などに対応した事業展開を進める上で、参考となる事例の紹介や専門家からの支援が可能となると考えている。現在、利用申し込みの方向で検討している。

個人質問

問 飲食店に安心ステッカーを

答 早期実現に向け取り掛かっている

米井重行議員



新型コロナウイルス対策ステッカー

質問1 感染拡大防止に努める飲食店にステッカーを提供し表示することは、市民が安心してお店を利用できる環境づくりにもつながり、感染防止対策に取り組む事業者の集客を支援できると考える。このお店は「感染防止対策をしっかりとしています」と示すような対策を検討する考えはないか。

環境経済部長 新型コロナウイルス感染症の再拡大により、地域経済に対する影響の長期化が懸念されるなか、感染防止対策と社会経済活動の両立を図っていくことが大変重要である。以前より要望があり、商工会、観光協会と協議をした結果、協力を得られることになった。現在ステッカー作成に取り掛かっている。市民が安心して市内の飲食店を利用できるように早期完成に向け努める。

質問2 コロナ禍での成人記念式典には、医療に従事し制約がある方やその他の事情で参加できない新成人も多いことと思う。当日参加できない人のために、式典の数日前から、撮影スポットの特設ブースの設置や、市ホームページに成人式の様子を記録する特設サイトを作成するなどの考えはないか。

教育長 式典に参加できない新成人の方に記念のコマを提供できるものを、今後、実施に向けて検討する。

問 障がい者への住宅改修費の増額を

答 助成制度のあり方を検討する

山田喜代子議員

個人質問

質問1 障がいのある人への住宅改修費の給付の限度額は20万円だが、増額できないか。
福祉部長 介護保険制度に準じている。居宅での生活動作等を円滑にするためにも、助成制度のあり方を整理し検討していきたい。

質問2 PCR検査の実施、感染情報の開示をするべきではないか。
健康子ども部長 市としても

印旛管内の市町の連名で県に要望した。

質問3 個人、事業者への各種支援は滞りなく行われていくか。
市長 最優先事項として取り組むよう指示をしている。

質問4 介護事業所へのアンケート結果を受けて要望や声にどう応える考えか。
福祉部長 事業所同士の情報共有が必要となることから、迅速に情報提供出来るような



段差の解消

しくみづくりの検討をする。

質問5 コロナ禍の中で、職員の間外労働の実態は。
総務部長 一人あたりの1カ月の時間外労働は多い人で143時間だ。

質問6 ふれあいバスの70才以上無料化は23年前に要望書を出して以来繰り返し質問してきた。大いに歓迎するものだが申請場所が3カ所しかない。増やす考えはないか。
福祉部長 今後検討する。

問 デキシー跡地に児童相談所を

答 考えてみる必要がある

増田葉子議員

個人質問

質問 公共施設の再配置を具体化する取り組みが令和2年度の廃止、統合はどのように進めていくのか。
市民部長 今後、進め方等を検討していきたい。

再質問 岩戸、船穂出張所は廃止の方向だが、出張所は地域住民にとって困り事の駆け込み先であり、コミュニティ機能ももっている。住民説明していくうえで、コミュニティ推進の基本方針がベースになくていいのか。



木下駅前の広大な空き地デキシー跡地

答弁 「地域コミュニティ基本方針」は2年度策定業務委託したが、コロナ禍で検討に入れていない。

再質問 牧の原、滝野出張所の統合は具体化しているのか。
企画財政部長 今後の方向性等を検討していきたい。

再質問 印西牧の原駅北エリアは人口増が著しい。駅北口のどこかに統合された出張所とともにコミュニティ施設を整備していく考えはないか。
答弁 現時点ではないが、人口増を見据え、公共施設全体を見直す中で検討していく。

再質問 木下駅南口のデキシー跡地は、中央公民館と中央保健センターを複合整備する方向だが、今、県で印旛圏域に新設を検討している児童相談所を誘致してはどうか。駅に近く、落ち着いた地域で児童相談所に最適である。
市長 考えてみる必要がある。

問 防災無線と市WEBの即時連携は

答 情報配信ツールとの連携を検討

松本有利子議員

個人質問

質問1 令和元年、ホームページと防災行政無線のリアルタイム連携について質問したが、現在の状況について伺う。
総務部長 防災行政無線の放送に合わせ手動にてホームページの対応をしている。今後、ホームページ、SNS等の多様な情報配信ツールとリアルタイムで連携できるようにシステムの整備を検討する。

再質問 防災行政無線とホームページのリアルタイム連携について知らない市民も多くいると思うが、その周知について検討しているか。



防災行政無線

答弁 防災情報取得の周知については、引き続き市広報紙、ホームページ等に加え、防災ツイッターにおいても行う。

質問2 緊急時の職員への情報伝達について伺う。
総務部長 休日夜間に災害対応が必要となった場合、緊急連絡網および、防災メールによる伝達をする。

再質問 通信障害の発生時にも対応できるよう、福岡市を参考に公用携帯電話を各部署に支給し、365日24時間体制で対応する考えはあるか。
答弁 地震発生時は震度情報に応じた配備基準により自動的に配備をとるが、通信障害が解消されるまで迅速な情報伝達が行えず災害対応に時間を要することが想定される。今後、公用携帯電話を含め、多様なシステムによる情報伝達について調査研究する。

問 マイナンバーカードの交付遅れは

答 一カ月半程度で通知をしている

金丸和史議員

個人質問

質問1 板倉市長の3期目の市政運営の方針はなにか。
市長 「とことん市民目線」という方針は変えることなく、さまざまな課題に取り組みたい。

質問2 市民へのマイナンバーカード交付率の推移は。
市民部長 現在の交付率は約19%で、増加傾向である。

再質問 増加の要因をどのように見ているのか。
答弁 特別定額給付金の申請およびマイナンバーカード申し込みによるものと考えている。

再質問 マイナンバーカードをどのように捉えているのか。
答弁 さまざまな行政手続が行えることから、市民サービスの向上に繋がるものと考えている。

再質問 マイナポイント等の利用については、マイナンバーカードが前提となるため、「地方公共団体情報システム

機構」への申請を早急に行う必要があるが、その周知は。
総務部長 4月15日号および9月1日号で周知したところである。
再質問 マイナンバーカードの健康保険証利用が令和3年3月から開始される。マイナンバーポータルサイトで、すでにその申し込みが始まったが、今後の周知予定については。
市民部長 国民健康保険加入者には更新の際にチラシを配布した。広報やホームページでも周知していきたい。

令和3年3月からマイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになります。



問 生活を支える交通環境整備は

答 順次着手している

小川 利彦 議員

質問1 閉校した校舎の活用は検討されているか。

企画財政部長 公共施設マネジメントに取り組んでいる。

再質問 なぜ普通財産としないのか。

答弁 活用方法や課題が整理されてから普通財産とする。

再質問 普通財産とすることで、賃貸などさまざまな活用が可能になるのではないか。

答弁 財産上の種別によらず公共施設跡地等活用方針に基づき活用を検討している。

質問2 合併時に計画された



早期開通が望まれる竜腹寺線

道路はどうなっているか。

都市建設部長 先行している路線の早期完成に努め、順次着手していく。

再質問 用地が確保されたら前倒しで着手できないか。

答弁 補助金など財源確保の問題もあり、順次着手する。

質問3 各公共施設の新型コロナウイルス等感染拡大防止策はどうなっているか。

健康子ども部長 各施設の実情に応じて対応している。

再質問 千葉県や近隣自治体の情報は収集しているか。

答弁 印旛保健所や印旛郡市9市町を中心に感染拡大防止策の情報交換をしている。

再質問 多くの人が触る箇所に光触媒抗菌コーティングの導入を検討できないか。

答弁 効果が検証されていない段階のため、3密回避などの対策を引き続き徹底していく。

問 市独自にPCR検査すべきでは

答 検査の拡充は検討していない

軍司 俊紀 議員

質問 市が新型コロナウイルス感染症対策として執行した支援策の歳出総額は。

市長 市独自の主な支援策では、「生活支援」として、子育て支援臨時特別定額給付金事業で8503万7千円、「経済支援」として、いんざい応援クーポン事業で5億7624万7千円など、市単独事業としての歳出総額は、合計で10億3025万9千円ある。



PCR検査用テント

再質問 更なる新型コロナウイルス対策は考えているのか。

企画財政部長 状況に応じた対応をする必要があるもので、状況を注視することはもちろん、現在実施中の「市民満足度・重要度調査」で市民の声、意向を把握し、今後の更なる対策を検討していきたい。

再質問 保健所が認められた濃厚接触者以外の方のため、PCR検査の拡充を行っている。市は、PCR検査の対象とならなかつた方に対してどのように対応するのか。

健康子ども部長 保健所が濃厚接触者を認定し、必要な方について検査を実施している。現段階で市独自の検査の拡充は検討していないので、引き続き、国や県の動向を注視しつつ、印旛保健所及び印旛市郡医師会とは連携を密にし、情報共有を図っていく。

問 庁舎内でもキャッシュレス決済を

答 まずは窓口での手数料から検討

稲葉 健 議員

質問 近隣市において、庁舎内窓口でのキャッシュレス決済が現実となってきたことが、市役所窓口での現状について伺う。

総務部長 窓口での来庁者の支払いは現金での納付のみで、キャッシュレス決済の導入には至っていない状況である。

再質問 キャッシュレス決済について、どう捉えているか。

答弁 近年では、社会全体でクレジットカードや電子マネー、モバイル決済等を用いたキャッシュレス決済の利用が進んでおり、当市でも市民サービス向上や事務の効率化などの効果が期待できるものと考えている。

再質問 今後の対応についてどのように考えているか。

答弁 現在、窓口での手数料等の納付について、キャッシュレス決済サービスを活用した手続きを行えるよう、検討



印西市役所正面

を進めている。

再質問 支払可能な電子マネーは何か。

答弁 クレジットカードをはじめ交通系や物流系などを考えている。幅広い決済方法が可能となることで、窓口サービスの向上に繋がるものと考えられる。

再質問 窓口での手数料の納付から始めるとのことだが、対象となる手数料は何か。

答弁 窓口で発行する、住民票の写しや市税等の証明書の手数料を想定している。

問 印旛沼公園下の市所有地の活用は

答 担当部署で検討を進めている

櫻井 正夫 議員

質問 平成30年度、令和元年度に印旛沼公園下の市有地の活用について質問しているが、検討は進んでいるか。この土地は、山城の師戸城址の下に位置し、南東は印旛沼に囲まれた風光明媚な土地であり、観光地としても利用価値が高い。どのように活用していくつもりか。検討状況はどうか。

市長 質問の市有地は、農業振興地域整備計画の農用地区域に指定されている3・7ヘクタールの農地である。活かし方しだいで有効に活用できるものと考えており、活用方針については、担当部署に、直接検討を指示している。

再質問 近隣の農家からも、農産物の直売ができるミニ店舗等を考えてはどうかと提案されている。観光協会で開催している軽トラ市なども良い案ではないかと思うが、具体

的な考えを伺う。

環境経済部長 活用に向けた取り組みとして土壌分析を実施し、分析結果を踏まえ、県の改良普及員と現地確認を行ったところである。軽トラ市も一つの活用策である。担当課においては、この8月に木更津市のブルーベリー観光農園を視察するなどして、検討に入っている。



観光地としても価値が高い市有地

各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。9月24日に総務企画常任委員会、9月25日に文教福祉常任委員会、9月28日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。委員会で行われた議案に対する主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

総務企画常任委員会

問 議案第1号 印西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定

答 が必要である。支援機関等とは、税務、財政等の専門的知識を有し、一定の実務経験を持つ支援機関で、税理士、公認会計士、弁護士等である。

問 議案第4号 印西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定

答 1%に引き下げとなる。また、市民への影響では、令和元年度における対象件数は2件であったことから、この2件に影響がある。

問 還付加算金の割合が0.5%引き下がった理由は、

答 市場金利が下がっていることが大前提となった。

問 平均貸付割合と

答 各年の前々年の9月から前年の8月までの各月の銀行の短期貸出約定平均金利の合計を12で除した割合で、前年11月30日までに告示される。

問 延滞金特例基準割合と用語を改正することに市民への影響はどうか。

答 割合の変更は還付加算金のみで、現在の1.6%から1.5%に引き下げとなる。

問 軽減措置の申請期間は、

答 令和3年1月31日までである。

問 申請をするための必要要件はどうか。

答 認定経営革新等支援機関等の確認が必要である。



相談窓口

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第1号	印西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第4号	印西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

地方税法の改正に対応して市税条例等を改正

地方税法の改正に対応して市税条例等を改正

質問1 防災行政無線の個別受信機を無償貸与する考えはないか。

総務部長 防災行政無線の個別受信機の導入については、現在のところ予定はない。しかし、防災行政無線が聞き取りにくいといった状況もあるので、防災行政無線テレホンサービス、防災メール等により情報の伝達に努めている。また今後、防災行政無線の音声伝達に対応し、迅速かつ的確に情報伝達を行う取り組みとして、スピーカー放送以外の情報伝達の多様化やそれに伴う防災行政無線システムの更新について検討していく。

質問2 令和元年の台風19号の豪雨に際し、利根川、手賀川の急激な水位上昇を経験したが、その際の危機対応について事後に検証が行われたか。

都市建設部長 国土交通省関



防災行政無線個別受信機

東整備局利根川下流河川事務所では、洪水予報で使用している各基準観測所において、2年度は氾濫危険水位等の見直しを行ったと聞いている。

再質問 検証後の問題点について、解決策は検討されているか。

答 押付観測所における避難判断水位を7.7mから7.1mに、氾濫危険水位を7.9mから7.8mに変更したことにより、水位状況がより早く発表されることになると聞いている。

個人質問

問 防災無線個別受信機の無償貸与を

答 予定はないが情報の伝達に努める

柿原健一議員

タブレット端末を使いこなせ ～タブレット端末操作を体験～

議会運営委員会

全国でタブレット端末を導入する議会が増えている中、印西市議会においても、議会改革の一つとして、タブレット端末導入の調査研究を進めており、2社の端末操作を体験しました。今後、タブレット端末や会議システムの仕様を検討し、令和3年度には当議会に最も適したシステムを導入する予定です。



目的

議案書をはじめ多くの情報が紙媒体を利用している現況では、資料作成において、多くの人的資源や紙資源、時間が費やされている。議会タブレット端末を導入することにより、議員活動や議会関連事務の効率化、生産性の向上、さらには資料のペーパーレス化（電子化）を図るものである。

効果

- * 効果的・効率的な会議開催
- * 資料の受領・携行性・保管・検索等の向上
- * 資料の認識性の向上
- * ペーパーレスによる作業コスト、物品コストの削減
- * 通知類の電子化により郵送コストの削減と到達速度・確実性の向上
- * 執行部・事務局の事務の効率化
- * ペーパーレスによる環境負荷軽減
- * 災害時の対応

改修工事契約を変更

各常任委員会の審査

文教福祉常任委員会



改修中の印西市文化ホール・図書館

【議案第14号 工事請負契約の変更】
【内容】印西市文化ホール・大森図書館改修工事について、新型コロナウイルス感染拡大の影響による工期延長に対応するため、及び中間検査において指摘された消防用設備等の改修のため契約金額を増額する。

問 増額になった工事の変更内容の内訳を伺う。

答 工期は当初の令和2年9月18日から3年3月12日まで175日間延長している。工事の変更は、中間検査で指摘されたスプリンクラーや誘導灯等の消防用設備の改修、新型コロナウイルス感染症対策として窓12カ所に網戸を新設、工事期間の延長に伴う経費その他で、計6368万7800円を増額する。

問 工期がさらに延長も影響するが、予定通り完了するのか。

答 令和3年3月までに完了すると報告を受けている。

【議案第16号 印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】令和2年11月1日から、医療機関窓口で受給券を提示し、自己負担金を支払う現物給付方式に移行する。規則により、自己負担額は入院1日200円、調剤は通院1回200円、調剤は無料とするもの。

問 対象世帯数と人数は。

答 令和2年8月末現在で385世帯、子どもは574人である。

問 受給の所得制限は。

答 児童扶養手当の所得制限限度額を適用する。

問 子ども医療費助成制度との違いはどうか。

答 対象者が異なり、ひとり親家庭の親等も対象になる。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第2号	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号	印西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第14号	工事請負契約の変更	可決
議案第16号	印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

松山下公園陸上競技場

全面改修へ

建設経済常任委員会



松山下公園陸上競技場

【議案第13号 工事請負契約の締結】
【内容】松山下公園陸上競技場の公認継続に必要な改修工事と損耗等が確認されている競技施設等の改修工事を行うもの。工事期間は、契約日から令和3年3月19日まで。

問 公認を継続するにあたり日本陸上競技

連盟による審査などがあったのか。

答 日本陸上競技連盟の調査を受け、公認に必要な改修箇所が指摘があった。

問 指摘されたもの以外は特にやらないということか。

答 指摘箇所の改修に合わせて、全面的に改修する。

問 低入札価格調査でどのようなことを確認したのか。

答 低入札価格調査では、当該価格で入札した理由を具体的に聞き取り、合理性を確認した。総合的に当該工事の履行に問題ないことを確認した。

【議案第5号 印西市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定】
【内容】道路占用料の延滞金の割合等の特例に関する規定を改正する。

問 道路占用物件はどのようなものがあるか。

答 道路敷地内への電柱の占用、水道管、下水道管、ガス管等である。

【議案第6号 印西市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定】
【内容】急傾斜地崩壊対策事業分担金の延滞金の割合の特例に関する規定を改正する。

問 市内において該当する箇所は何力所あるか。また、延滞金が発生した事はあるか。

答 現在、萩原地区、平賀地区の2カ所。これまでに延滞金が発生した事例はない。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第5号	印西市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号	印西市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第7号	印西市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第8号	印西市公共下水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第9号	印西市下水道条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第13号	工事請負契約の締結	可決

シリーズ 新人議員のコーナー

第3回は、
梶原友雄議員です。

* 議会の用語って分かりにくいよね。
傍聴するのにきっと役立ちます。



会派

多数決を原則とする市議会の中において、自らの政策の実現や発言権の確保などのために、同じような考えをもった議員同士が集まり活動しています。このような議員の集りを【会派】と呼んでいます。

議長・副議長

議会を代表するのが議長です。議長・副議長は議員の中から選挙で選ばれます。

定例会

定期的に行われる議会で年4回開くことが条例で定められています。印西市議会ではおおむね3月、6月、9月、12月に開催されます。

委員会

本会議で付託された議案や請願について、専門的に審査するための機関です。印西市議会では各常任委員会（総務企画・文教福祉・建設経済・予算審査）および議会運営委員会が設置されています。

請願

意見や要望を行政に反映させるため、その内容を議会に対して文書で提出することです。請願には1人以上の紹介議員が必要です。請願は所管する委員会で審査を行い、本会議で採決されます。

陳情

意見や要望を行政に反映させるため、その内容を議会に対して文書で提出することです。ただし、紹介議員は必要ありません。

専決処分

議会を招集する時間的余裕がないときなど、市長が議会に代わって意志決定することです。専決された議案は次の議会に上程され承認するかどうかが審議されます。

今回は、梶原健一議員にバトンタッチ！

陳情第2—5号
▼「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書（議員配布）
陳情第2—6号
▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書（議員配布）
発議案（注）
発議案第1号
▼新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（可決）
（注）発議案とは、議員が提出する議案

令和2年第3回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥（地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加わりません。）
—=その他 ※議長（板橋 睦）は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	梶原 健一	梶原 友雄	藤江 研一	松本有利子	伊藤 真一	稲葉 健	小川 利彦	玉木 実	米井 重行	櫻井 正夫	浅沼美弥子	岩崎 成子	海老原 俊一	中澤 俊介	藤代 武雄	増田 葉子	松尾 榮子	軍丸 俊紀	金丸 和史	山田喜代子	近藤 瑞枝	板橋 睦	
《議案》（市長提出議案）																									
議案第3号	印西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第15号	印西市基本構想の策定	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第1号	令和元年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第2号	令和元年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第4号	令和元年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第5号	令和元年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

令和2年第3回定例会 全会一致(可決・認定・同意・適任)議案一覧

番号	件名	番号	件名
《議案》（市長提出議案）		《議案》（市長提出議案）	
議案第1号	印西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定	議案第13号	工事請負契約の締結
議案第2号	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	議案第14号	工事請負契約の変更
議案第4号	印西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第16号	印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第5号	印西市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定	認定第3号	令和元年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
議案第6号	印西市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	認定第6号	令和元年度印西市水道事業会計決算認定
議案第7号	印西市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	同意第1号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること(小畑 昌也氏)
議案第8号	印西市公共下水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	同意第2号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること(鈴木 裕枝氏)
議案第9号	印西市下水道条例の一部を改正する条例の制定	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(押田 香代子氏)
議案第10号	令和2年度印西市一般会計補正予算(第5号)	《議案》（議員提出議案）	
議案第11号	令和2年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	発議案第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出
議案第12号	令和2年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号)		

あたしは6歳の女の子。名前はニコです。保護団体の人から2月上旬生まれだと言われたので、お母さんがお誕生日を2月5日に決めてくれたので、ニコ。
お母さんのお習字教室の生徒さんは、幼稚園の子から中学生までいるんだけど、大人も来ているんだよ。この間は般若心経を写経していた。みんながお習字している時、あたしはもちろんイイ子にしている。ま、主に寝ているんだけどね。



表紙の写真

請願・陳情書の提出ができます。
詳細は議会事務局まで。



陳情・発議案・議案と審議結果一覧

新人議員コーナー

『わたしたちの街、
印西に思うこと』

滝野中学校

3年 小山西 温人



私たちの街、印西市は日々変化を続けています。僕は、5年前に印西市に引っ越してきました。特別不便なところありませんでしたが、印西市に来てどの世代にも愛される街だと感じました。周辺には、スーパーや商業施設が多く、また娯楽にふれられる場所も多くあります。成田空港や羽田空港などの空へのアクセスがよく、交通の利便性の高い街です。

このような印西市では、過ごしやすさから人口は現

在も増え続け、2018年には人口が10万人を突破しました。数年前は、家から少し歩けば見えていた牧の原小学校が周辺に建てられた家によつて見えなくなつてしまいました。住民が増えていくことは、街の活性化にもつながりますが、私たちの世代が守らなければならぬものもあることを感じています。この5年、街とともに私は成長をしてきました。「緑と都会の調和のとれた街、印西」で幸せな生活を送ることができると、一方、移ろつていく景観を綺麗に保たなければいけないと感じています。少子高齢化が進み若者の力が必要な今だからこそ、私たちの世代が率先して行動していきたいと思えます。地域の除草作業や自然保護などのボランティア活動に積極的に参加して5年後、10年後も綺麗な私たちの街、印西を保てるように行動していきたいと思えます。

第4回定例会 会期予定及び日程

第4回定例会は、11月30日(月)から12月18日(金)までの会期予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況などにより、予定が変更となる場合があります。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議会の傍聴についてはできる限りお控えいただくようお願いいたします。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614

日	月	火	水	木	金	土
11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20 議会運営委員会	11/21
11/22	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28
11/29	11/30 本会議 (議案上程)	12/1 本会議 (個人質問)	12/2 本会議 (個人質問)	12/3 本会議 (個人質問)	12/4 本会議 (個人質問)	12/5
12/6	12/7 本会議 (個人質問)	12/8 予算審査 常任委員会	12/9 総務企画 常任委員会	12/10 文教福祉 常任委員会	12/11 建設経済 常任委員会	12/12
12/13	12/14	12/15	12/16	12/17 議会運営 委員会 正副委員長会議	12/18 本会議 (議案の採決)	12/19

編集後記

新型コロナウイルスが目に見えれば、もつと対処の仕方があるのかもしれませんが、どこに潜んでいるかわからないのが困ったところです。

今定例会が終了する頃から、ようやく人の動きが出てきているように感じられますが、根本的な解決策が無いままの手探り状態の中での行動だと思えます。「いんざい応援クーポン」や「GOTOキャンペーン」を利用するなどして、明るい未来を思い描けるといいですね。(稲葉)

- 委員長 近藤 瑞枝
- 副委員長 海老原 友雄
- 委員 梶原 友雄
- 委員 藤江 研一
- 委員 伊藤 真一
- 委員 稲葉 健
- 委員 増田 葉子

